

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
数学	数学 I	3	1年 普通科 スタンダード	必履修	新編 数学 I (数研出版)	3TRIAL 数学 I + A (数研出版)

学習目標	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを的確に活用する能力を伸ばし、数学的論拠に基づいて判断出来るようになる。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 ・数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
	「思考・判断・表現」 ・数や式を必要に応じて適切に変形する力、事象を的確に表現してその特徴を図や式、グラフに表現する力、社会の事象などからデータを分析する力を身に付けている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 ・考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。
評価の方法	「知識・技能」 ・目標を踏まえ、定期考査における「知識・技能」に関する問題・小テスト・レポート等で評価する。
	「思考・判断・表現」 ・目標を踏まえ、定期考査における「思考・判断・表現」に関する問題・小テスト・レポート等で評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 ・副教材の提出状況、設問への取り組み状況、授業への取り組み(発言・発表・発問など)具合などを考慮して総合評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	<第1章 数と式> ・方程式、不等式について理解し、高校数学の基礎となる計算能力を習得する。 ・複雑な展開や因数分解を通じて、様々な工夫や考え方を身に付ける。
	<第1章 数と式> ・実数、有理数、無理数、自然数、整数、有限小数、循環小数など、数の定義を学ぶ。 ・物事の真偽を見極める力をつけ、さらにその真偽を対偶や背理法を用いて証明できるようになる。
2 学期	<第2章 2次関数> ・2次関数の式からグラフを描き、最大値・最小値を求められるようになる。 ・与えられた条件から2次関数の式を求められるようになる。
	<第2章 2次関数> ・2次関数の考え方を通じ、2次方程式や2次不等式の見方に気付き、発想を豊かにする。 <第3章 図形と計量> ・三角比の概念を学び、直角三角形を利用することで建物や木の高さなどを求められるようになる。
3 学期	<第3章 図形と計量> ・三角比の定理を学び、直角三角形以外からも距離や山の高さなどを求められるようになる。 <第4章 データの分析> ・データの代表値や散らばりについて学び、データから物事を読み取る力をつける。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--